

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年5月6日(2021.5.6)

【公表番号】特表2020-511275(P2020-511275A)

【公表日】令和2年4月16日(2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2020-015

【出願番号】特願2019-552465(P2019-552465)

【国際特許分類】

A 4 3 B 13/40 (2006.01)

A 4 3 B 13/18 (2006.01)

A 4 3 B 13/12 (2006.01)

【F I】

A 4 3 B 13/40

A 4 3 B 13/18

A 4 3 B 13/12

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月23日(2021.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

履物製品のためのソール構造体であって、前記ソール構造体は、

ミッドソールであり、第1表面と、前記第1表面に対して前記ミッドソールの対向する側において形成された第2表面と、前記第1表面に形成され、かつ、前記第1表面から前記第2表面に向かう方向においてテーパが付いている第1キャビティと、前記第2表面に形成され、かつ、前記第2表面から前記第1表面に向かう方向においてテーパが付いている第2キャビティと、を含むミッドソール、

前記第1キャビティの中に配置されている第1量の粒子状物質、および、

前記第2キャビティの中に配置されている第2量の粒子状物質、

を含み、

前記第1キャビティは、前記第1キャビティと流体連通し、かつ、前記第1キャビティから前記第2表面まで延びている第1通路、を含む、

ソール構造体。

【請求項2】

履物製品のためのソール構造体であって、前記ソール構造体は、

ミッドソールであり、第1表面と、前記第1表面に対して前記ミッドソールの対向する側において形成された第2表面と、前記第1表面に形成され、かつ、第1形状を有する第1キャビティと、前記第2表面に形成され、かつ、前記第1形状を有する第2キャビティと、を含み、前記第2キャビティは前記第1キャビティに対して反転されている、ミッドソール、

前記第1キャビティの中に配置されている第1量の粒子状物質、および、

前記第2キャビティの中に配置されている第2量の粒子状物質、

を含み、

前記第1キャビティは、前記第1キャビティと流体連通し、かつ、前記第1キャビティから前記第2表面まで延びている第1通路、を含む、

ソール構造体。

【請求項 3】

前記第 2 キャビティは、前記第 2 キャビティと流体連通し、かつ、前記第 2 キャビティから前記第 1 表面まで延びている第 2 通路、を含む、

請求項 1 または 2 に記載のソール構造体。

【請求項 4】

前記第 1 通路は、前記第 1 キャビティとは異なる形状を有し、かつ、

前記第 2 通路は、前記第 2 キャビティとは異なる形状を有する、

請求項 3 に記載のソール構造体。

【請求項 5】

前記第 1 キャビティおよび前記第 2 キャビティは、同じ形状を有している、

請求項 1 または 2 に記載のソール構造体。

【請求項 6】

前記第 1 キャビティおよび前記第 2 キャビティは、前記ミッドソールの長手方向軸に対して平行に延びる方向において、互いに離間されている、

請求項 1 乃至 5 いずれか一項に記載のソール構造体。

【請求項 7】

前記第 1 キャビティおよび前記第 2 キャビティは、前記ミッドソールの長手方向軸に対して平行に延びる方向において互いにオーバーラップしている、

請求項 1 または 2 に記載のソール構造体。

【請求項 8】

前記第 1 キャビティおよび前記第 2 キャビティは、球形状、楕円形状、および、台形状のうちの 1 つを有する、

請求項 1 乃至 7 いずれか一項に記載のソール構造体。

【請求項 9】

前記第 1 量の粒子状物質が第 1 バリア部材によって受け容れられ、かつ、前記第 2 量の粒子状物質が第 2 バリア部材によって受け容れられ、

前記第 1 バリア部材は、前記第 1 量の粒子状物質と前記第 1 キャビティとの間に配置されており、かつ、前記第 2 バリア部材は、前記第 2 量の粒子状物質と前記第 2 キャビティとの間に配置されている、

請求項 1 乃至 8 いずれか一項に記載のソール構造体。

【請求項 10】

前記第 1 バリア部材および前記第 2 バリア部材は、ポリマーから形成されている、

請求項 9 に記載のソール構造体。

【請求項 11】

前記第 1 バリア部材および前記第 2 バリア部材は、熱可塑性ポリウレタン (TPU) から形成されている、

請求項 9 に記載のソール構造体。

【請求項 12】

前記第 1 バリア部材は、前記第 1 キャビティの中に受け容れられる第 1 バリア部分を含み、かつ、

前記第 2 バリア部材は、前記第 2 キャビティの中に受け容れられる第 1 バリア部分を含む、

請求項 9 に記載のソール構造体。

【請求項 13】

前記第 1 バリア部材は、前記第 1 バリア部分に取り付けられた第 2 バリア部分を含み、前記第 1 量の粒子状物質を受け容れる第 1 内部空間を画定し、かつ、

前記第 2 バリア部材は、前記第 2 バリア部材の前記第 1 バリア部分に取り付けられた第 2 バリア部分を含み、前記第 2 量の粒子状物質を受け容れる第 2 内部空間を画定する、

請求項 12 に記載のソール構造体。

【請求項 14】

前記第 1 バリア部材の前記第 2 バリア部分、および、前記第 2 バリア部材の前記第 2 バリア部分は、前記第 1 バリア部材の前記第 1 バリア部分、および、前記第 2 バリア部材の前記第 1 バリア部分と同一の材料から形成されている、

請求項 13 に記載のソール構造体。

【請求項 15】

前記第 1 バリア部材の前記第 2 バリア部分、および、前記第 2 バリア部材の前記第 2 バリア部分は、前記第 1 バリア部材の前記第 1 バリア部分、および、前記第 2 バリア部材の前記第 1 バリア部分とは異なる材料から形成されている、

請求項 13 に記載のソール構造体。

【請求項 16】

前記第 1 量の粒子状物質と前記第 2 量の粒子状物質は、同じ量である、

請求項 1 または 2 に記載のソール構造体。

【請求項 17】

前記第 1 量の粒子状物質と前記第 2 量の粒子状物質は、異なる量である、

請求項 1 または 2 に記載のソール構造体。

【請求項 18】

前記第 1 量の粒子状物質および前記第 2 量の粒子状物質のうち少なくとも 1 つは、フォームビーズを含んでいる、

請求項 1 乃至 17 いずれか一項に記載のソール構造体。

【請求項 19】

前記フォームビーズは、球形状を有する、

請求項 18 に記載のソール構造体。

【請求項 20】

前記フォームビーズは、同じサイズおよび同じ形状を有する、

請求項 18 に記載のソール構造体。

【請求項 21】

前記フォームビーズは、異なるサイズおよび異なる形状のうち少なくとも 1 つを含む、

請求項 18 に記載のソール構造体。

【請求項 22】

前記第 1 キャビティは、前記第 1 表面から前記第 2 表面に向かう方向においてテーパが付いており、かつ、

前記第 2 キャビティは、前記第 2 表面から前記第 1 表面に向かう方向においてテーパが付いている、

請求項 2 に記載のソール構造体。

【請求項 23】

履物製品のためのソール構造体であって、前記ソール構造体は、

ミッドソールであり、第 1 表面と、前記第 1 表面に対して前記ミッドソールの対向する側において形成された第 2 表面と、前記第 1 表面に形成された複数の第 1 キャビティと、前記第 2 表面に形成された複数の第 2 キャビティと、を含み、前記複数の第 2 キャビティは、前記ミッドソールの長さに沿って前記複数の第 1 キャビティと交互に配置されている、ミッドソール、

前記第 1 キャビティの中に配置されている第 1 量の粒子状物質、

前記第 2 キャビティの中に配置されている第 2 量の粒子状物質、および、

前記第 1 キャビティは、前記複数の第 1 キャビティのうちそれぞれと流体連通し、かつ、前記第 1 キャビティそれぞれから前記第 2 表面まで延びている第 1 通路、

を含む、ソール構造体。

【請求項 24】

前記ソール構造体は、さらに、

前記複数の第 2 キャビティのうちそれぞれと流体連通し、かつ、前記第 2 キャビティそ

れぞれから前記第 1 表面まで延びている第 2 通路、を含む、
請求項 2 3 に記載のソール構造体。

【請求項 2 5】

前記第 1 通路は、前記複数の第 1 キャビティとは異なる形状を有し、かつ、
前記第 2 通路は、前記複数の第 2 キャビティとは異なる形状を有する、
請求項 2 4 に記載のソール構造体。

【請求項 2 6】

前記複数の第 1 キャビティは、第 1 形状を有し、かつ、
前記複数の第 2 キャビティは、前記第 1 形状を有し、
前記複数の第 2 キャビティは、前記複数の第 1 キャビティに対して反転されている、
請求項 2 3 に記載のソール構造体。

【請求項 2 7】

前記複数の第 1 キャビティは、前記第 1 表面から前記第 2 表面に向かう方向においてテ
ーパが付いており、かつ、
前記複数の第 2 キャビティは、前記第 2 表面から前記第 1 表面に向かう方向においてテ
ーパが付いている、
請求項 2 3 に記載のソール構造体。

【請求項 2 8】

前記複数の第 1 キャビティおよび前記複数の第 2 キャビティは、前記ミッドソールの長
手方向軸に対して平行に延びる方向において、互いに離間されている、
請求項 2 3 乃至 2 7 いずれか一項に記載のソール構造体。

【請求項 2 9】

前記複数の第 1 キャビティおよび前記複数の第 2 キャビティは、前記ミッドソールの長
手方向軸に対して平行に延びる方向において互いにオーバーラップしている、
請求項 2 3 に記載のソール構造体。

【請求項 3 0】

前記複数の第 1 キャビティおよび前記複数の第 2 キャビティは、球形状、楕円形状、お
よび、台形状のうちの 1 つを有する、
請求項 2 3 乃至 2 9 いずれか一項に記載のソール構造体。

【請求項 3 1】

前記第 1 量の粒子状物質が第 1 バリア部材によって受け容れられ、かつ、前記第 2 量の
粒子状物質が第 2 バリア部材によって受け容れられ、
前記第 1 バリア部材は、前記第 1 量の粒子状物質と前記複数の第 1 キャビティそれぞ
れとの間に配置されており、かつ、前記第 2 バリア部材は、前記第 2 量の粒子状物質と前記
複数の第 2 キャビティそれぞれとの間に配置されている、
請求項 2 3 乃至 3 0 いずれか一項に記載のソール構造体。

【請求項 3 2】

前記第 1 バリア部材および前記第 2 バリア部材は、ポリマーから形成されている、
請求項 3 1 に記載のソール構造体。

【請求項 3 3】

前記第 1 バリア部材および前記第 2 バリア部材は、熱可塑性ポリウレタン (T P U) か
ら形成されている、
請求項 3 1 に記載のソール構造体。

【請求項 3 4】

前記第 1 バリア部材は、前記複数の第 1 キャビティそれぞれの中に受け容れられる第 1
バリア部分を含み、かつ、
前記第 2 バリア部材は、前記複数の第 2 キャビティそれぞれの中に受け容れられる第 1
バリア部分を含む、
請求項 3 1 に記載のソール構造体。

【請求項 3 5】

前記第 1 バリア部材は、前記第 1 バリア部分に取り付けられた第 2 バリア部分を含み、前記第 1 量の粒子状物質を受け容れる第 1 内部空間を画定し、かつ、

前記第 2 バリア部材は、前記第 2 バリア部材の前記第 1 バリア部分に取り付けられた第 2 バリア部分を含み、前記第 2 量の粒子状物質を受け容れる第 2 内部空間を画定する、請求項 3 4 に記載のソール構造体。

【請求項 3 6】

前記第 1 バリア部材の前記第 2 バリア部分、および、前記第 2 バリア部材の前記第 2 バリア部分は、前記第 1 バリア部材の前記第 1 バリア部分、および、前記第 2 バリア部材の前記第 1 バリア部分と同一の材料から形成されている、

請求項 3 5 に記載のソール構造体。

【請求項 3 7】

前記第 1 バリア部材の前記第 2 バリア部分、および、前記第 2 バリア部材の前記第 2 バリア部分は、前記第 1 バリア部材の前記第 1 バリア部分、および、前記第 2 バリア部材の前記第 1 バリア部分とは異なる材料から形成されている、

請求項 3 5 に記載のソール構造体。

【請求項 3 8】

前記第 1 量の粒子状物質と前記第 2 量の粒子状物質は、同じ量である、

請求項 2 3 に記載のソール構造体。

【請求項 3 9】

前記第 1 量の粒子状物質と前記第 2 量の粒子状物質は、異なる量である、

請求項 2 3 に記載のソール構造体。

【請求項 4 0】

前記第 1 量の粒子状物質および前記第 2 量の粒子状物質のうち少なくとも 1 つは、フォームビーズを含んでいる、

請求項 2 3 乃至 3 9 いずれか一項に記載のソール構造体。

【請求項 4 1】

前記フォームビーズは、球形状を有する、

請求項 4 0 に記載のソール構造体。

【請求項 4 2】

前記フォームビーズは、同じサイズおよび同じ形状を有する、

請求項 4 0 に記載のソール構造体。

【請求項 4 3】

前記フォームビーズは、異なるサイズおよび異なる形状のうち少なくとも 1 つを含む、

請求項 4 0 に記載のソール構造体。